

2014年 第3問

 数理
石井K

3 a を定数とする. $a_n = -2n + a$ で定められる数列 $\{a_n\}$ を次のような群に分け, 第 k 群には k 個の項が入るようにする.

$$a_1 \quad | \quad a_2, a_3 \quad | \quad a_4, a_5, a_6 \quad | \quad a_7, a_8, a_9, a_{10} \quad | \quad \dots$$

第1群 第2群 第3群 第4群

第 k 群に含まれるすべての項の和を S_k とするとき, 次の問いに答えよ.

- (1) S_k を求めよ.
 (2) $a = 212$ のとき, S_k が最大となる群に含まれる項の平均値を求めよ.
 (3) $a = 92$ のとき, $|S_k| = |S_{k+1}|$ を満たす k を求めよ.

(1) 第1群 ~ 第 $k-1$ 群に入っている項の数の和は $\sum_{i=1}^{k-1} i = \frac{1}{2}(k-1) \cdot k$

\therefore 第 k 群の最初の項は $a_{\frac{1}{2}k(k-1)+1} = -2\left\{\frac{1}{2}k(k-1)+1\right\} + a = -k^2 + k + a - 2$

第 k 群の最後の項は, $-k^2 + k + a - 2 + (k-1) \cdot (-2) = -k^2 - k + a$

$\therefore S_k = \frac{k}{2} \left\{ -k^2 + k + a - 2 + (-k^2 - k + a) \right\} = \underline{\underline{-k^3 + ak - k}}$ //

(2) $S_{k+1} - S_k = -3k^2 - 3k + a - 2$

$\therefore a = 212$ のとき, $S_{k+1} - S_k = -3(k^2 + k - 70)$

はじめに $S_{k+1} - S_k < 0$ となるのは, $k > \frac{-1 + \sqrt{1+280}}{2} \therefore k: \text{整数より } k = 8$

このとき $S_8 = 1176$ より, 平均値は $\frac{1176}{8} = \underline{\underline{147}}$ //

(3) (2) より, $S_k = S_{k+1}$ となることはない

$\therefore S_k = -S_{k+1}$ となることを考える このとき $S_k + S_{k+1} = 0$ なので

$S_k = 0$ となる k を求めると, $S_k = -k(k^2 - a + 1) = -k(k^2 - 91)$

$\therefore k = \sqrt{91}$ のとき $S_k = 0$ ($k: \text{整数以外も許して考えれば}$)

$9 = \sqrt{81} < \sqrt{91} < \sqrt{100} = 10$ より, S_9 と S_{10} を求めると

$S_9 = -9^3 + 9 \cdot 92 - 9 = 90$, $S_{10} = -90$

$\therefore |S_9| = |S_{10}|$ が成り立っている $\therefore k = \underline{\underline{9}}$ //